

平成24年度独立行政法人国立美術館契約監視委員会議事概要

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|----------|--------------------|------------|----------------|--|---------------------------|----|--------------------|-----|----------------|------|--|---------------|-----|---|--------------------|-----|----------------|-----|--|
| 開催日及び場所 | 平成25年2月4日（月）東京国立近代美術館4階会議室 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 出席委員 （敬称略） | ○委員長 宝木範義（明星大学造形芸術学部教授） ○委員 高橋明也（三菱一号館美術館館長） 高場一博（弁護士） 黒田亮子（監事、元群馬県立館林美術館館長） 鈴木 清（監事、公認会計士） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 議事 | 1 平成23年度契約監視委員会後の契約について 2 平成24年度契約点検結果について 3 平成25年度契約事前点検結果について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 議事概要 | <p>議事1 平成23年度契約監視委員会後の契約について 平成23年度の契約状況</p> <table border="1"> <tr> <td>審査対象契約件数</td> <td>190件</td> </tr> <tr> <td>競争性のない随意契約</td> <td>159件</td> </tr> <tr> <td> <table border="1"> <tr> <td>次回の契約時に競争性のある契約に移行予定としたもの</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td>競争性のある契約に移行予定のないもの</td> <td>29件</td> </tr> <tr> <td>平成23年度限りであったもの</td> <td>125件</td> </tr> </table> </td> <td></td> </tr> <tr> <td>1者応札・応募であった契約</td> <td>31件</td> </tr> <tr> <td> <table border="1"> <tr> <td>次回の契約時に改善する予定としたもの</td> <td>16件</td> </tr> <tr> <td>平成23年度限りであったもの</td> <td>15件</td> </tr> </table> </td> <td></td> </tr> </table> <p>(1) 平成23年度に随意契約であったもので、次回の契約時に競争性のある契約に移行予定としていた契約5件の平成24年度の契約状況は以下のとおりであった。</p> <p>① 競争性のある契約に移行済みのもの 3件 ② 契約期間中のもの 1件 ③ 競争性のある契約に移行しなかったもの 1件※</p> <p>※「財務会計システムアウトソーシング業務委託」について、平成26年度の法人統合に向けて、当面は現システムを使用することが必要となったことから随意契約とした。法人統合が当面凍結となったが、今後の法人統合の凍結解除などの状況を踏まえながら、新システムの導入についてあらためて検討し、国立美術館として導入することとした場合は、保守・点検を含めて競争性のある契約とすることを検討したい。</p> <p>(2) 平成23年度に1者応札・応募であったもので、次回の契約時に改善する予定としていた契約16件の平成24年度の契約状況は以下のとおりであった。</p> <p>① 一般競争入札から公募に移行したもの 1件 （うち、複数応募となったもの 0件）</p> | 審査対象契約件数 | 190件 | 競争性のない随意契約 | 159件 | <table border="1"> <tr> <td>次回の契約時に競争性のある契約に移行予定としたもの</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td>競争性のある契約に移行予定のないもの</td> <td>29件</td> </tr> <tr> <td>平成23年度限りであったもの</td> <td>125件</td> </tr> </table> | 次回の契約時に競争性のある契約に移行予定としたもの | 5件 | 競争性のある契約に移行予定のないもの | 29件 | 平成23年度限りであったもの | 125件 | | 1者応札・応募であった契約 | 31件 | <table border="1"> <tr> <td>次回の契約時に改善する予定としたもの</td> <td>16件</td> </tr> <tr> <td>平成23年度限りであったもの</td> <td>15件</td> </tr> </table> | 次回の契約時に改善する予定としたもの | 16件 | 平成23年度限りであったもの | 15件 | |
| 審査対象契約件数 | 190件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 競争性のない随意契約 | 159件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <table border="1"> <tr> <td>次回の契約時に競争性のある契約に移行予定としたもの</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td>競争性のある契約に移行予定のないもの</td> <td>29件</td> </tr> <tr> <td>平成23年度限りであったもの</td> <td>125件</td> </tr> </table> | 次回の契約時に競争性のある契約に移行予定としたもの | 5件 | 競争性のある契約に移行予定のないもの | 29件 | 平成23年度限りであったもの | 125件 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 次回の契約時に競争性のある契約に移行予定としたもの | 5件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 競争性のある契約に移行予定のないもの | 29件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 平成23年度限りであったもの | 125件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1者応札・応募であった契約 | 31件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <table border="1"> <tr> <td>次回の契約時に改善する予定としたもの</td> <td>16件</td> </tr> <tr> <td>平成23年度限りであったもの</td> <td>15件</td> </tr> </table> | 次回の契約時に改善する予定としたもの | 16件 | 平成23年度限りであったもの | 15件 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 次回の契約時に改善する予定としたもの | 16件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 平成23年度限りであったもの | 15件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

- ② 再度、公告期間を20日以上としたもの 5件
(うち、複数応札となったもの 2件)
- ③ 民間競争入札に含むこととしたもの 4件
- ④ 契約期間中のもの 6件

(3) 個別指摘事項
特になし

議事2 平成24年度契約点検結果について
平成24年度の契約状況

| | |
|--------------------------------|------|
| 審査対象契約件数 | 151件 |
| 随意契約 | 125件 |
| 美術作品の購入 | 76件 |
| 電気・水道・ガスの使用契約 | 8件 |
| 土地の購入・賃借 | 4件 |
| 駅電飾看板等、広告の掲載希望場所により相手方が限定されるもの | 2件 |
| 随意契約とすることが認められている、運送又は保管に係るもの | 11件 |
| 展覧会に関し、相手方が指定されるもの | 7件 |
| 特定の業者でなければ請け負えないもの | 8件 |
| 不落随契 | 7件 |
| 工事に係るもの | 2件 |
| 1者応札・応募であった契約 | 26件 |

(1) 随意契約について

- ① 次回の契約時に競争性のある契約への移行を検討しているもの 1件
- ② 競争性のある契約に移行予定のないもの 21件
- ③ 競争性のある随意契約（不落随契） 7件
- ④ 平成24年度限りのもの 96件

(2) 1者応札・応募であった契約について

- ① 公告期間を20日以上とするもの 2件
- ② 再度、公告期間を20日以上とするもの 7件
- ③ 仕様書の見直しを行う予定のもの 2件
- ④ 現契約の満了時に改善について検討するもの 5件
- ⑤ 平成24年度限りのもの 10件

(3) 個別指摘事項

国立新美術館の「与えられた形象－辰野登恵子／柴田敏雄」展出品作品の集荷等運送及び陳列、撤去、現地返納作業は、一般競争入札が行われているが、随意契約が認められている運送又は保管に係る契約である。随意契約として事務の簡素化を図ってもよいと思われる。

| | |
|--|--|
| | <p>議事3 平成25年度契約事前点検結果について</p> <p>(1) 平成24年度に競争性のない随意契約であったもので、平成25年度に競争性のある契約に移行予定であるもの 1件</p> <p>(2) 平成24年度に1者応札・応募であったもので、平成25年度に改善を図る予定のもの 11件</p> <p>(3) 個別指摘事項 1者応札・応募の改善に当たっては、公告期間の延長のほか、業務の質の低下とならない範囲で仕様書の見直しなども検討いただきたい。 映画フィルム複製製造請負作業は、特殊な業務であり、随意契約とできないか検討いただきたい。</p> <p>総括意見</p> <p>○不適正な契約と認識されるものは見受けられない。</p> <p>○競争性の確保のための業務量が増加し負担となるため、競争性のある契約とするか否かを整理し直す必要があると思われる。</p> <p>○契約監視委員会が認めたものは、随意契約とすることができないか検討いただきたい。</p> |
|--|--|